

新型コロナウイルス感染症・物価高騰 対応創生臨時交付金に係るアンケート (第4回) 調査結果

令和6年5月
清川村政策推進課

アンケート調査概要

○目的

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策を含めた今後の施策の参考とするため、国の新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対応地方創生臨時交付金を活用した事業に関するアンケート調査を行うものです。

○回答方法

次のいずれかの方法で回答

- (1) 神奈川県電子システム（アンケート調査機能）にアクセスして回答
- (2) 政策推進課窓口（役場庁舎2階）で回答

○回答してほしい方

- (1) 村内に住んでいる方
- (2) 村内にお勤めの方
- (3) 村内で事業を営んでいる方

※ 広く意見を伺うため、上記以外の方も回答可能としました。

○調査期間

令和6年5月1日（水）～5月20日（月）

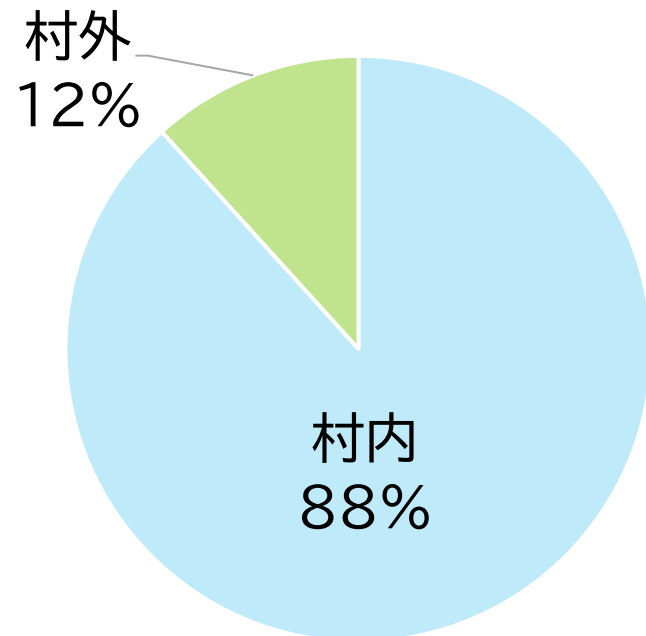
※インターネットでの回答は24時間可能

※窓口での回答は、平日の午前8時30分～午後5時15分まで

回答者の属性

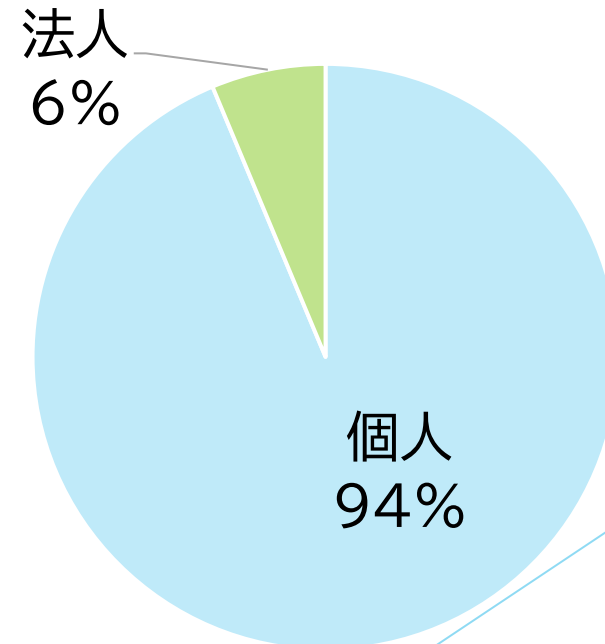
○回答総数 延べ111人

居住地域	
村内在住	98人
村外在住	13人



個人又は法人の別	
個人	104人
法人	7人

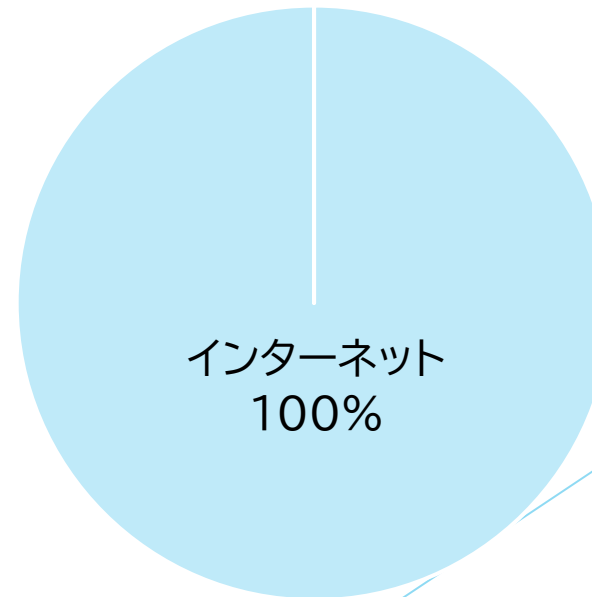
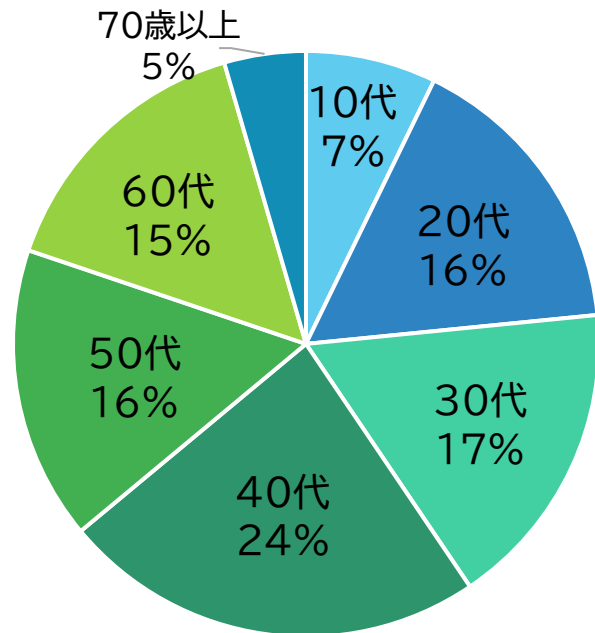
※法人には個人事業主を含みます



回答者の属性②

年齢			
10歳未満	0人	40代	26人
10代	8人	50代	18人
20代	18人	60代	17人
30代	19人	70歳以上	5人

回答方法	
インターネット	111人
窓 口	0人



各事業の評価

低所得世帯に支援給付金を給付

概要

コロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する低所得世帯への経済的負担を軽減しました。

成果

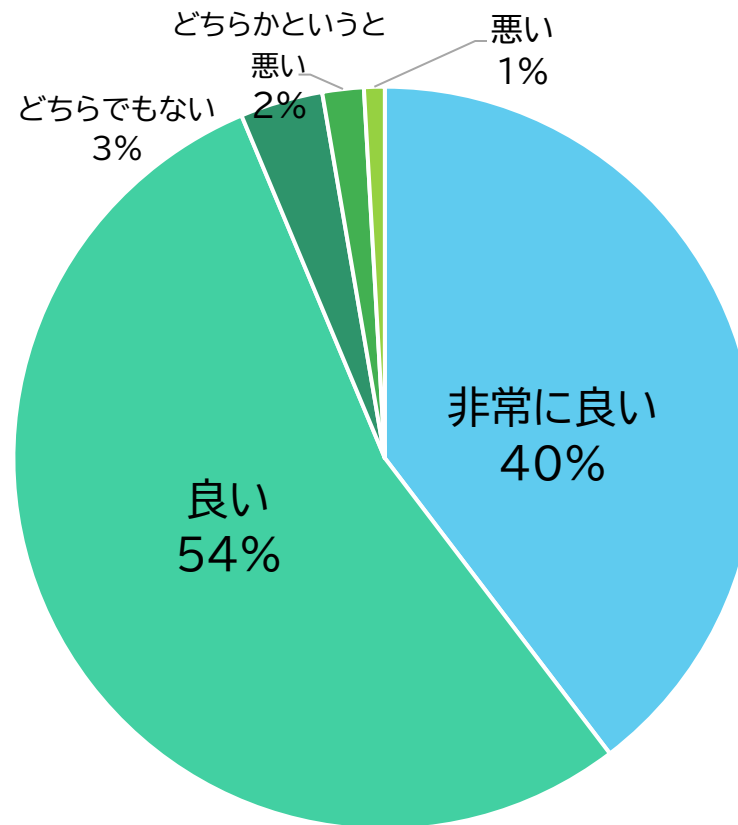
令和5年度住民税非課税世帯を対象に、臨時支援給付金の給付により、経済的負担を軽減しました。

- 給付額：1世帯あたり30,000円
- 給付世帯数：253世帯



○「低所得世帯に支援給付金を給付」の評価

評価	
非常に良い	44人
良い	60人
どちらでもない	4人
どちらかという悪い	2人
悪い	1人



[主な意見]

- 困っている方のところに行くのであれば良いと思う。
- 生活に困っている人の生活費になればありがたい。
- 生活が大変なのはわかる。
- 物価高騰の影響を受けるのは、みな同じ。
- 公平性の面や必要な世帯に給付できていないように感じる。

きよかわ元気応援券(第5弾)の配布

概要

コロナ禍における原油価格・物価高騰に係る村民及び事業者の経済的負担を軽減するため、村内限定で使用できる商品券を配布し、地域経済の活性化を図りました。

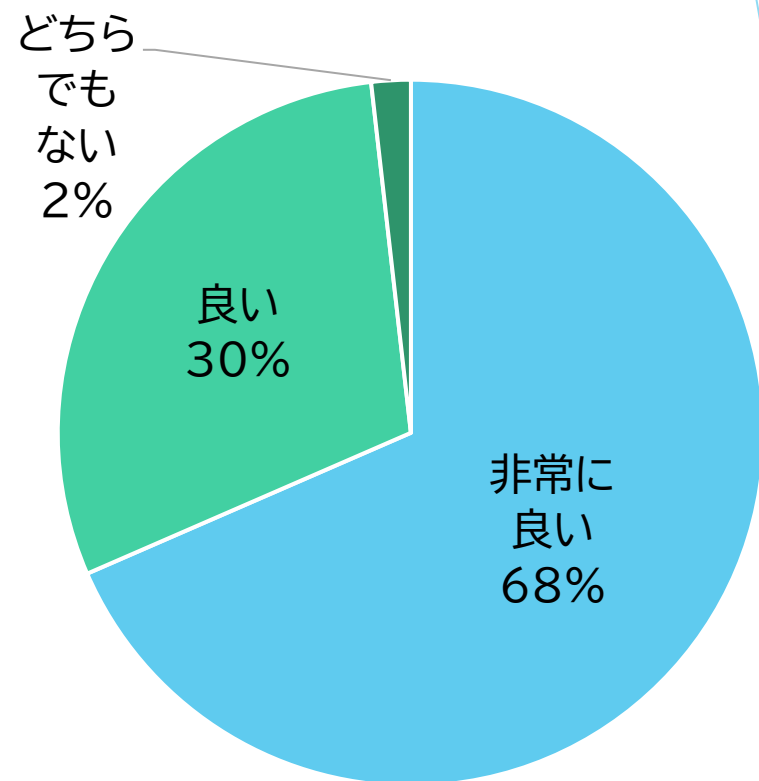
成果

村内での消費を喚起し、村民の経済支援及び村内事業者の復興支援に寄与しました。



○「きよかわ元気応援券(第5弾)の配布」の評価

評価	
非常に良い	76人
良い	33人
どちらでもない	2人
どちらかという悪い	0人
悪い	0人



[主な意見]

- 家族が多いので、助かりました。
- 子育て世代にとっては、とてもありがたい。
- 村内で消費できるのはありがたい。
- 公平であり、需給共に活性化が期待できる。
- 住民支援なのか小売店支援なのかよくわからない。

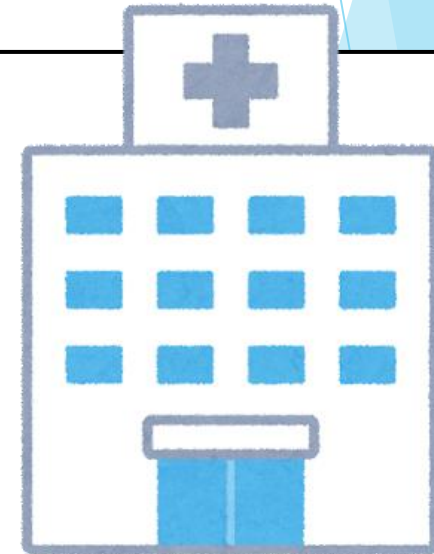
医療機関等の物価高騰による影響への支援

概要

食料品価格等の物価高騰の影響を受けた医療機関等に支援を行いました。

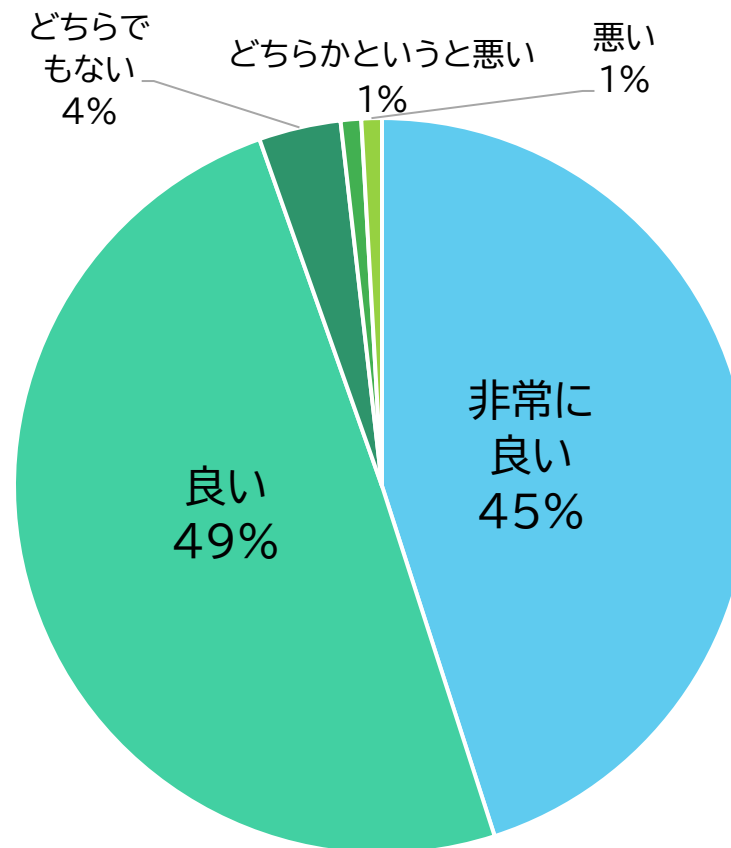
成果

村内の医療機関の維持に寄与し、村民の安全・安心につながりました。



○「医療機関等の物価高騰による影響への支援」の評価

評価	
非常に良い	50人
良い	55人
どちらでもない	4人
どちらかというが悪い	1人
悪い	1人



[主な意見]

- 村の医療機関の支援になれば良いと思う。
- 医療機関への食料の物価高対策が、なぜ医療機関の維持に繋がるのか疑問。
- かかりつけ医が村内医療機関ではなく村外のため、影響を感じられない。